

麦の穂

発行責任者 医療法人光臨会 理事長 荒木 攻

89

令和3年
10月29日発行

医療法人 光臨会
荒木脳神経外科病院
Araki Neurosurgical Hospital

コロナ禍と病院機能評価受審

令和3年も残すところあと2ヶ月あまりとなりました。昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行は、今年9月以降、感染者は減少傾向で緊急事態宣言も解除となりましたが、まだまだ予断を許しません。

このような中、10月4日に広島県出身では30年ぶり4人目で、第100代となる岸田文雄内閣総理大臣が誕生しました。岸田総理は所信表明演説の中で、第一の政策に、「新型コロナ対応」を挙げ、具体的には3回目のワクチン接種への準備、経口治療薬の年内実用化、国産ワクチンや治療薬の開発などを進め、危機管理を抜本的に強化するとしています。第二の政策に、「新しい資本主義の実現」を挙げ、「成長と分配の好循環」と「コロナ後の新しい社会の開拓」を掲げています。世界中に「K字の傷」が拡大する中、喫緊の課題も多く難しい舵取りとなりそうですが、新しい広島出身の総理大臣には、是非力強いリーダーシップを發揮して広島県は無論のこと、日本を良い方向に導いて頂きたいと思います。

今年も新型コロナウイルス感染症に翻弄された年となりました。当院は脳疾患救急対応に特化した病院ではありますが、地域医療を守るという使命感を持ち、感染防止対策も徹底して行い有熱患者に対しても可能な限り受け入れを行っておりました。しかしながら、今年の5月上旬、ゴールデンウィーク明けに新型コロナウイルス感染症の第4波が押し寄せ市中感染が蔓延するなか、当院においても感染経路は特定できませんでしたが複数の感染者が発生し、約1か月間の業務縮小を余儀なくされました。この約1か月間、救急車や新規入院患者の受入ができず、地域住民の方々、近隣の医療機関、消防には大変なご迷惑をお掛け致しました。これを機に、平時は脳神経疾患に対する救急病院であると同時に、非常時には災害、疫病に対応できる院内体制を整えていかなければならぬと強く感じております。

さて、当院は、医療の質の向上と患者サービスの改善を目指し、5年毎に更新を迎える、日本医療機能評価機構の行う病院機能評価を2021年8月30日、31日の両日に受けました。当初は5月の予定でしたが、院内クラスター発生のため延期措置を執ってもらい、8月の受審となりました。延期はしたもの、いまだコロナ非常事態宣言下での各種制約がある中での受審であり、膨大な書類の準備を要する事からいつも以上のエネルギーを注ぐことになりました。私は、当院職員には、常日頃から目標を達成しようとするときに「out come」より「process」がより重要であることを言っているところです。この第三者評価も審査で認定されることが目的ではなく、受審に向けた準備を進めることにより業務上の気づきや改善のきっかけを得ることが重要で、それらが医療の質やサービスの向上につながってまいります。この度の受審は当院の体制整備の方向性を改めて認識する貴重な機会となりました。

令和3年10月22日
院長 荒木 勇人

もくじ

- ① コロナ禍と病院機能評価受審
- ② 新任医師のご紹介 / TIAって何？
- ③ 広島ロボケアセンターの利用をきっかけに、社会参加に繋がった一例
～ボッチャ大会へのエントリー～
- ④ 脳ドックのご案内 / 管理栄養士のおすすめメニュー
- ⑤ 連携医療機関のご紹介 — (医療法人千寿会 平林内科・小児科医院) —

新任医師のご紹介

脳神経外科 黒川 泰玄

令和3年10月より荒木脳神経外科病院に勤務させていただきます。平成14年山口大学卒で、初期研修を終了した後、広島市立安佐市民病院、島根県立中央病院、市立三次中央病院などで脳神経外科医として勤務しました。昨今のコロナ禍のため、特に都市部では医療事情が大きく変わっているようです。また、広島市内で働くのは久しぶりです。ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、よろしくお願いします。



TIAって何?

TIAとは一過性脳虚血発作 (transient ischemic attack) の頭文字をつなげたものです。厳密には「局所脳または網膜の虚血に起因する神経機能障害の一過性のエピソードであり、急性梗塞の所見がないもの。神経機能障害のエピソードは、長くとも24時間以内に消失すること。」とされていますが、わかりやすく言えば「一次的に脳梗塞のような症状が出現し、24時間以内に症状が消失するもの。」を指し、ほとんどが病院に来るまでに症状が改善しています。

でも、症状が治ったからと言って本当に大丈夫なのでしょうか？

実は脳梗塞をおこされる患者さんの10~30%には、脳梗塞になる前にTIAがあると言われており、適切な治療を受けないと「一度は症状が回復」しても、後に「本当に」脳梗塞になってしまい、後遺症を抱える患者さんは少なくありません。

特に65歳以上の高齢者や、高血圧や糖尿病があるかたは、危険が高くなるため注意が必要です。

TIAは一般に知られている「高血圧」や「高コレステロール血症」といった、脳梗塞の危険因子としての認識がはるかに低いため、診察時に症状が治っている場合には医療機関ですら「脳卒中専門医にすみやかに相談する」ことは半分にも満たない状況であることが脳卒中協会のアンケート調査でわかっています。

「手足が動かない」「言葉が出ない」などの症状があったら、一旦症状が回復したとしても決して油断せずに、速やかに脳卒中専門医のいる医療機関を受診しましょう。

診療部門長 渋川 正顕

- F：顔がゆがむ
- A：手が上がらない
- S：言葉が出ない
- T：このような
症状があれば、
早めの受診を！



広島ロボケアセンターの利用をきっかけに、社会参加に繋がった一例～ボッチャ大会へのエントリー～

広島ロボケアセンターは、おかげさまで今年7月1日に開所二周年を迎えました。

広島ロボケアセンターは、HAL®(CYBERDYNE社が開発した装着型サイボーグ)を用いた保険適用外のトレーニング施設として、ご利用者のお身体の状態に合わせ荒木脳神経外科病院でHAL®に習熟した療法士が、脳・神経系の運動学習を図るプログラム「Neuro HALFIT®」を作成し、日々提供しております。

右記の円グラフのようにご利用者の半数以上が脳卒中にによる後遺症を患い、日常生活に様々な影響をきたしており、腕を使用した作業や歩くこと等に対しての強いニーズを抱えております。当センターでは、ご利用者一人ひとりのニーズに合わせて腕(肘)や両脚に装着するHAL®や他の運動機器を用いた個別プログラムの立案およびご提案をしております。その結果、腕を使用した作業能力の改善、歩幅の拡大や歩行速度の改善、バランス能力の向上につながり、日常生活での動きに加えて、外出やイベントへの参加等のご自身のモチベーションを高めることができます。

ここに、開所より2年間のトレーニング継続の結果、ボッチャ大会エントリーまで至った事例をご紹介いたします。

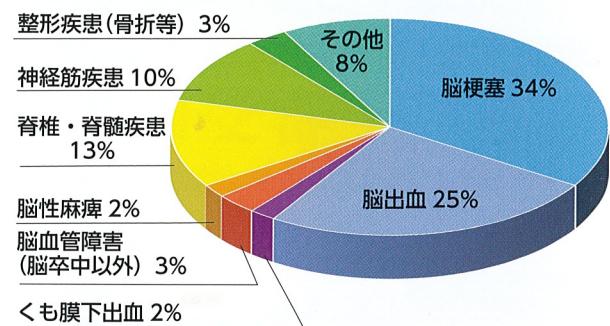
この方は60歳代男性で、5年前に脳梗塞により左半身の後遺症があり、現在は自宅療養中です。一昨年の7月からご利用をいただき、ご利用当初は後遺症の影響により不安定ではありましたが、屋内では左足の装具と四点杖で歩かれていました。病前に本人様が地域のスポーツ普及に尽力されていたことから、障がい者スポーツのボッチャに対し興味・関心を持たれていました。Neuro HALFIT®では歩くことに加え、ボッチャで必要な体幹の安定性を向上するプログラムを週1回のペースで実施しました。その結果、体幹の安定性向上、歩行速度の向上や歩幅の拡大等の歩く能力だけでなく広島市が主催するボッチャ大会へのエントリーにも繋がりました。

当センターではいつもご利用者様の気持ちに寄り添って、目標の達成まで共に地道に頑張り、共に喜びを分かち合いたいとスタッフ一同願っております。

最後に、当センターでは地域の方々を対象にフレイル(加齢や筋力・体力低下が引き金となり陥る心身機能の虚弱状態)の改善・予防を目的としたメニューも実施しており、いつまでも生き生きとした生活ができるようサポートしております。お気軽にご相談くださいませ。

今後とも広島ロボケアセンターのご利用を、よろしくお願い申し上げます。

●センター利用者の疾患割合 (N=64)



トレーニング中の様子



ボッチャ大会のエントリーに
繋がりました

住所：広島市西区庚午北2丁目16-4-102

(荒木脳神経外科病院より)

宮島街道沿いに220mほど西方向)

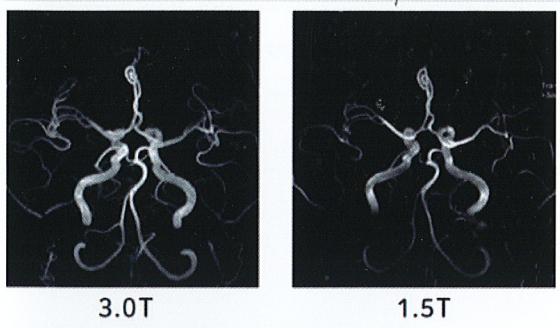
電話：082-208-2442

担当：瀧 慎伍

脳ドックのご案内

当院では、午前と午後の外来診察の間のお昼時間を利用して、脳ドックをご提供しております。

当院の脳ドックは、3.0テスラMRIを用いて、鮮明な画像を脳神経外科専門医と画像診断科の医師2名で診断しており、日本脳ドック学会の認定施設となっています。



(表1)

	スタンダード	プレミアム
脳MRI・頭頸部血管MRA	○	○
診察	○	○
認知機能検査	○	○
脳の萎縮度検査「VSRAD」	○	○
頸動脈超音波検査	—	○
血液一般検査	—	○
尿一般検査	—	○
12誘導心電図	—	○
胸部X線検査	—	○
血圧脈波検査(ABI)	—	○
個人ファイル CD-R	○	○
費用(税込)	¥30,600	¥46,900

また当院では、脳に限定したスタンダードコースと、採血やレントゲン、超音波検査なども合わせて行うプレミアムコースの2コースをご用意していますので、ご希望に合ったコースをお選びいただけます(詳細は表1を参照)。

お申込みは、お電話又はホームページにて承っております。コロナ禍で行動制限などが続く中、一度、ご自身の脳の健康チェックを行ってみませんか。

庶務課長 梶原 誠人

管理栄養士のおすすめメニュー

秋の味覚と言えば脂ののった美味しい魚（かつお、さけ、さんま、いわし、さば、ほっけ等）が旬を迎えます。魚は私たちの健康維持に必要不可欠な栄養素がたくさん含まれています。

脳や神経組織の発育に必要で、記憶力向上等におすすめなDHA、主に血液をサラサラにする働きがあるEPAを多く含んでいるのは青魚の脂です。では、白身魚に含まれる栄養素はご存知ですか？

白身魚には良質なたんぱく質が豊富に含まれ、脂質やコレステロールが少ないのが特徴です。ダイエット中や、胃腸が弱っているとき、高齢者や幼児などにも向いています。また、タコやイカなどに多い「タウリン」という成分も含まれています。

「さけ」は身が赤いため赤身の魚と思われがちですが、白身魚に分類されます。さけがエサとして食べているオキアミの色素で身の色が赤くなっています。この赤い色素は、アスタキサンチンという成分でビタミンCの6000倍という非常に強い抗酸化作用があります。緑黄色野菜に含まれるβカロテン、リコピンにも抗酸化作用がありますが、アスタキサンチンは群を抜いています。アスタキサンチンはビタミンCと共に摂取すると効果が持続すると言われています。また、さけの皮にはコラーゲンが豊富で、皮の下の脂にはDHA、EPAを含んでいることから、皮ごと食べるのがおすすめです。

管理栄養士 池永 知子



☆さけのバター醤油焼き

【分量】1人分

さけ 一切れ 小麦粉 適量
醤油 大さじ1 バター 適量
レモン 輪切り1枚
黒胡椒 お好みで
じゃがいも 1個

- ①さけに小麦粉をまぶして両面をフライパンで焼く。
両面ほど焼きあがったところでバターを入れて更に焼く。
- ②焼きあがったさけをお皿に取り出す。同じフライパンにバターを溶かし、醤油を加える。
- ③さけの上にレモンの輪切りをのせて、②をかける。
じゃがいもは粉ふき芋にして添えてください





連携医療機関のご紹介

医療法人千寿会 平林内科・小児科医院

住 所：〒733-0035

広島県広島市西区南觀音6丁目1-6ドマーニタセイビル1F

T E L：082-293-2700

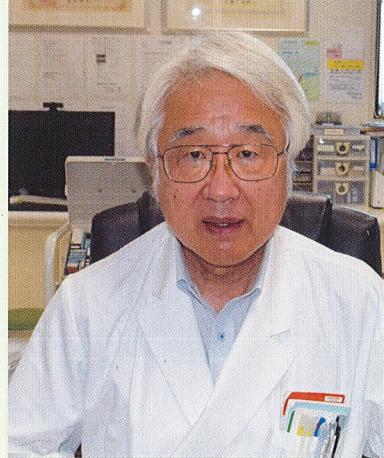
F A X：082-293-2701

診療科目：内科、小児科

院 長：平林 一郎

診療時間	月	火	水	木	金	土	日/祝
9:00～13:00	●	●	●	●	●	●	—
15:00～18:00	●	●	●	—	●	▲	—

12:00迄
14:00～
16:00迄



平林 一郎先生



当院は、父（千代三）が昭和41年に西区觀音新町に開業し、平成6年には南觀音に診療所を移転し、私も診療に加わるようになりました。父と二人で診療をしていましたが、平成13年より院長に就任しています。勤務医時代には消化器内科を専門にしていましたが、開業後は小さなお子様から100歳近くの高齢者まで受診され、時には祖父母から孫まで三代にわたる患者さまもおられます。父の時代から当たり前のように行っていた往診は、そのまま在宅医療という形で引き継いでいます。これからは地域に根差した医療というよりは、地域に同化した気負わない医療を目指していきたいと考えています。今後の超高齢化社会を迎えるにあたって、さまざまな形で地域に貢献していきたいと思っています。

荒木脳神経外科病院では脳外科疾患だけでなく内科系・外科系疾患や画像診断も快く引き受けいただき感謝しております。そして西区医師会の重要な事業である「西区在宅あんしん病院」の拠点病院として患者さまを救うだけでなく、私ども開業医も助けていただいている。また、荒木院長先生には西区医師会理事として活躍していただいている。多忙な中地域医療だけでなく医師会活動にもご尽力いただいていることに感謝申し上げます。先生方や職員の皆様は、多忙な日常診療だけでなく医師会活動や多くの社会活動に参加いただき大変な日々を過ごされていると思いますが、これからも私ども開業医を助けていただける様にお願いいたします。

最後に、このコロナ禍において先生方や職員の方々は大変な苦労と努力をされているかと思います。感染が適切に制御された日常が1日でも早く訪れ、日常診療が大きな制限なく行われることを切に願っております。



医療法人光臨会 理念

- 皆様に安心していただける、全人的な医療と介護を目指します

荒木脳神経外科病院 理念

- 脳神経外科としての専門性を軸に、幅広い診療体制で地域医療に貢献します
- 急性期医療の中核病院として、高機能で質の高いチーム医療を行います

運営方針

- 「医療の原点は救急である」
- 快適な療養環境と接遇の提供
- チーム医療の推進と相互啓発
- 「医療と福祉の複合化」の推進

患者様の権利

- 医療法人光臨会 荒木脳神経外科病院は、職員全員が次のような患者様の権利を尊重し、納得と同意に基づいた医療を行います
- 個人の尊厳が守られる権利を尊重します
 - 最善かつ安全な医療を受ける権利を尊重します
 - 医療に関して知る権利を尊重します
 - 個人のプライバシーが守られる権利を尊重します
 - 自分自身の治療等について自分で決定する権利を尊重します
 - 自分自身の治療について他の医師の意見を聞く権利を尊重します
 - 苦情を申し立てる権利を尊重します

患者様の義務

- 患者様には適切かつ安全な医療を受ける為、診療上必要な自らの情報を正確に伝える義務があります
- 患者様にはお互いに快適な療養生活を受ける為に、定められた規則を守る義務があります



外来担当医表

			月	火	水	木	金	土
脳神経外科	午前	初 診	渋川	中原	沖	江本	黒川	広大
		荒木院長	黒川	江本	沖	渋川	江本	
	午後	初再診	沖	野坂	渋川		荒木院長	
			荒木理事長	加納			加納	
脳神経内科	午前	初再診	野坂	沖	広大	加納	沖	広大
				加納				
けいれん外来 (小児科)	午後	再診のみ		岸			岸	
総合診療	午前	初再診	野村 (循環器内科)	浅本 (消化器内科)	藤井 (外科)	浅本 (消化器内科)	梅本 (循環器内科)	野村 (循環器内科)
	午後	初再診	梅本 (循環器内科)	梅本 (循環器内科)	野村 (循環器内科)	梅本 (循環器内科)	藤井 (外科)	井上 (消化器内科)
			藤井 (外科)	浅本 (消化器内科)	浅本 (消化器内科)	藤井 (外科)	野村 (循環器内科)	

医療法人光臨会



荒木脳神経外科病院

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-272-1114 FAX 082-272-7048
E-mail info@arakihp.jp
ホームページアドレス <http://www.arakihp.jp>

荒木訪問リハビリテーション

〒733-0821 広島市西区庚午北2丁目8-7
TEL 082-527-1123 FAX 082-527-1127

デイサービス あらき

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6100

あんしんホーム(認知症対応型共同生活介護施設)

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6600

荒木居宅介護支援事業所

〒733-0822 広島市西区庚午中2丁目11-15
TEL 082-507-6300

診察時間

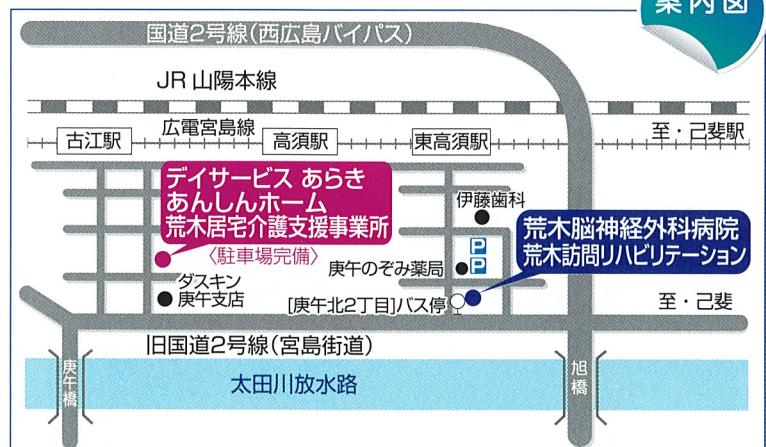
午前 9時～12時
(初診受付：午前 11時30分迄)
午後 3時～6時
(初診受付：午後 5時30分迄)

診察予約は
082-272-1114 (代表)

へお電話ください。
救急は 24 時間受付けております

※井上名誉教授
第1 土曜日 月 1回

案内図



○自動車

西広島バイパス「庚午出口」より

宮島方向へ100m(宮島街道沿い)

○広島電鉄・宮島線／「東高須」下車 徒歩3分

○広島バス25号線／「庚午北2丁目」バス停前